

水道資料3

平成30年度 滝沢市水道事業の進捗状況

1 概況

平成30年度の水道事業は、滝沢市水道ビジョンの基本理念である「信頼され続ける水道」を経営の基本方針とし、安全でおいしい水道水の安定供給に努めています。

「安心・安全」安心して飲むことができる安全な水道

■水源の確保と保全

- ・ 水源涵養地として、姥屋敷水源の隣接地 6,099 m²を取得しました。

■安全な水の供給

- ・ 安全な水道水の供給のため、水質管理を徹底しています。
- ・ 柳沢取水ポンプ場の滅菌設備を更新し、安全な水を供給しています。

■給水サービスの向上

- ・ 配水管の各所に設置された減圧弁の点検調整を行い、給水圧の適正化を図ります。
- ・ 貯水槽水道の巡回指導は年度末までに予定し、水質管理の徹底を図ります。

「安定・強靱」安定した給水を実現する強靱な水道

■水道施設の最適化

- ・ アセットマネジメントを基に配水管整備計画や老朽管更新計画の策定を進めています。
- ・ 道路改良事業等に併せた配水管整備や重要給水施設経路の耐震化のため約 4.3 km(12地区)の路線について配水管を布設しています。
- ・ 配水区域の細分化した流量測定のため4か所の流量計室を整備します。
- ・ 市内全域（一本木系、湯舟沢高区系を除く）の配水系について漏水調査を実施中です。

■災害応急対策の充実

- ・ 12月に盛岡市と合同で、連絡管操作訓練を行いました。
- ・ 緊急貯水槽遮断弁の作動復旧訓練および応急給水所の給水タンク設置訓練等を実施する予定です。

■給水区域の拡大

- ・ 平成30年4月から一本木地区を統合した監視システムを稼働しています。

「環境・持続」環境に配慮した持続可能な水道

■顧客サービスの向上

- ・ 顧客ニーズの把握と経営計画への反映を目的に、水道に関するアンケート調査を実施しました。
- ・ 平成29年4月1日から包括的委託により開設したお客様センターとの連携を図り、ワンストップサービスによる迅速な対応や宅地内漏水の早期発見に努めました。

- ・ 昨年創刊した上下水道広報誌「水だより」を引き続き作成配布したほか、水道週間行事として水道施設見学会や「滝沢浄水場と岩手山麓湧水地めぐり」を実施しました。
- ・ 滝沢市産業まつりに出展し、新企画として実際の耐震管表面塗装部に絵やメッセージの落書きをしたりして、親子いっしょに水にふれあうことができました。

■環境対策の推進

- ・ 浄水処理や工事で発生する浄水汚泥や建設副産物の適正処理を継続しています。
- ・ 動力ポンプの更新時には、高効率モーターを搭載した機器を設置し、使用電力量を低減させ、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。

■財政の健全化

- ・ 他事業との工程調整による工事コストの削減に努めています。
- ・ 水道料金の未納対策について、包括業務受託者と連携を図り取り組んでおり、過年度分の10月期収納率は94.76%、前年度比較で0.62ポイントの増、額にして188,775円の減となっています。
- ・ 今年度より一本木簡易水道事業が統合され、水道事業全体としての経営効率の向上が図られました。ただし、統合事業により引き受けた起債8億3780万円に伴う718万円余りの元金と676万円余りの利子の支出について、その半分は基準内繰入として一般会計から負担いただくものとなりました。

■人財育成と組織力の強化・技術の継承

- ・ 企業職員確保育成方針により、職員の経験年数に応じた研修会への参加や資格取得を奨励する等人材育成に取り組んでいます。
- ・ 業務効率を高めるため、給水関連業務の異動等の組織改編と、メーター交換管理業務の委託を行いました。
- ・ 周辺の小規模事業者6市町で組織している「岩手紫波地区水道事業協議会」の研究会と滝沢市上下水道事業経営審議会の合同開催を行いました。

■官民連携・広域連携の推進

- ・ 災害時における応援協力に関する協定を締結している包括業務受託者と協働し、その実効性を高めるため、12月6日に災害対応合同訓練を実施しました。
- ・ 盛岡広域圏の水道事業の広域連携に関する検討を進めるために設置された【岩手県水道事業広域連携検討会盛岡広域ブロック検討会】において、11月19日の合同会議において、今年度内にまとめて報告することとされている「広域連携の方針」の公表に向けて、報告書素案審議が行われました。

目標指標（平成30年度は12月補正值）

区分	指標	説明	H26	H29 実績	H30 見込み	H30 目標値
安心・安全	塩素臭から見たおいしい水達成率（％）	残留塩素濃度から見た、管理目標達成率（0.4ミリグラム/リットル以下）	75.0	98.5	100.0	100.0
	地下水率（％）	水源、利用水量のうち地下水の割合。	95.0	97.7	98.0	96.0
安定・強靱	有収率（％）	年間有収水量を年間配水量で割ったもの。なお、有収水量にはメーター不感水量2％考慮している。	90.1	89.3	91.0	91.0
	配水池貯留能力（日）	一日平均配水量の何日分が配水池などで貯留可能であるかを表しており、給水に対する安全性、災害・事故等に対する危機対応性を示す。	0.85	0.84	0.86	0.85
	給水拠点密度（箇所/km2）	給水区域当りの拠点数であり、緊急時の利用しやすさを表している。	8.9	8.9	8.9	11.1
	配水池耐震施設率（％）	耐震対策の施されている配水池容量の割合。	46.1	46.1	49.0	46.1
	管路の耐震化率【全線】（％）	管路総延長のうち耐震管の占める割合。	20.0	24.0	31.1	24.6
	管路の耐震化率【幹線】（％）	幹線管路のうち耐震管の占める割合。	17.4	21.6	26.0	18.4
環境・持続	経営資本営業利益率（％）	経営成績に対する総合的な指標であり、投下した経営資本と営業利益の関係を表す指標であり、指標は高いほど良い。	2.9	1.6	0.4	1.6
	経常収支比率（％）	収益性を見る最も代表的な指標で、この比率が高いほど経常利益率が高いことを表す。	133.0	121.1	115.7	114.9
	給水収益に対する企業債残高の割合（％）	給水収益に対する企業債残高の割合を示しており、企業債残高の規模と経営への影響を分析するための指標。	221.8	179.3	269.9	282.5
	給水原価（円/m3）	有収水量1m3当りについて、どれだけの費用がかかっているかを表すもの。	154.3	161.5	174.5	180.5
	水道業務経験年数度（年/人）	業務は経験によってその遂行能力にも差が出るので、組織全体とすれば十分経験を積んだ職員がいることが望ましい。	4.5	7.0	7.0	6.0
	配水量1立方メートル当たり消費エネルギー（MJ/m3）	全施設での総エネルギー消費量を年間配水量で割ったもの。	1.03	1.08	1.07	1.03

2 平成30年度水道事業会計について

(1) 収入及び支出の決算見込額

単位：百万円

区 分		平成30年度 決算見込 A	平成29年度 決算 B	比較増減 A - B
収益的 収入及び 支出 (消費税抜)	① 水道事業収益	1,028	969	59
	うち給水収益	840	815	25
	うち長期前受金戻入益	90	60	30
	② 水道事業費用	923	800	123
	うち減価償却費	390	326	64
	うち支払利息	35	30	5
	③ 差引 (①-②)	105	169	△ 64
資本的 収入及び 支出 (消費税込)	④ 資本的収入	107	14	93
	うち企業債	90	0	90
	⑤ 資本的支出	637	545	92
	うち建設改良費	515	437	78
	うち企業債元金償還	122	108	14
	⑥ 資本的収支不足額 (⑤-④)	530	531	△ 1
企業債残高		2,267	1,461	806
流動資産－流動負債 (企業債除く)		796	866	△ 70

- ※ 平成30年度予定損益計算書 3-7に掲載
 平成30年度予定貸借対照表 3-8に掲載
 平成30年度予定キャッシュ・フロー計算書 3-10に掲載

(2) 主な保存工事

単位：百万円 (消費税込)

費用区分	主 な 事 業 内 容	事 業 費
原水及び浄水費	滝沢浄水場沈殿水残留塩素計定量ポンプ 交換工事	11
	滝沢浄水場管理棟ほか防水塗装工事	
	浄水施設修繕工事	
配水及び給水費	減圧弁修繕工事	57
	舗装復旧工事	
	配水施設修繕工事	
事業費合計		68

(3) 建設改良費の主な内容 (12月補正後)

建設改良費の主な内容						
(単位：百万円、消費税及び地方消費税込)						
区分	事業名称	事業内容	予算額		財源内訳	
営業設備費	土地取得費	姥屋敷水源周辺水源涵養地取得事業 取得面積 6,099 m ²	水源保護用地取得費	3	自己資金	3
			計	3	計	3
	機械及び装置取得費	量水器・直購入 量水器・貯蔵品出庫	量水器取得費	79	自己資金	79
			計	79	計	79
事業費計						82
水道施設整備費	基幹水道施設整備事業費	より安全な水道水の供給を確保するため、各施設の能力向上を図る。 滝沢浄水場サンプリングポンプ増設他工事	工事費及び補償費	2	自己資金	2
			計	2	計	2
	老朽施設更新事業費	耐用年数を経過し、運転管理・水質管理に支障を及ぼす恐れのある施設を更新する。 滝沢浄水場真空ポンプ更新工事 柳沢高区配水池流入電動弁更新工事 湯舟沢取水ポンプ場滅菌設備更新工事 湯舟沢配水池配水流量計更新工事 柳沢高区配水池受電設備等更新工事	工事費及び補償費	53	自己資金	53
			計	53	計	53
	事務費	人件費等		19	自己資金	19
	計		19	計	19	
事業費計						74
配水管整備費	配水管整備事業費	道路改良事業等に併せ配水管整備する。 祢宜屋敷地区工事 巣子地区工事 施工総延長 483 m	工事費及び補償費	42	自己資金	42
			計	42	計	42
	老朽管更新事業費	老朽化が進行した配水管の有効率向上のため、耐震管に布設替える。 洞畑地区工事 (配3) 細谷地地区工事 (配4) 大緩地区工事 (配7) 穴口地区工事 (配39) 湯舟沢地区工事 (配45) 巣子地区工事 (東配35・37) 下鶴飼地区工事 (配19) 牧野林地区工事 (配29) 祢宜屋敷地区工事 (配44) 大畑地区工事 巣子地区工事 施工総延長 3,858 m	工事費及び補償費	283	自己資金 地方債	197 90
			調査設計費	4		
	計	287	計	287		
	その他配水管整備費	漏水対策事業：配水系をブロック化し、漏水調査地域を絞り込むための施設を整備する。 流量計室設置工事 4基	工事費及び補償費	5	自己資金	5
計		5	計	5		
事務費	人件費等		25	自己資金	25	
計		25	計	25		
事業費計						359
建設改良費合計						515

(4) 建設改良事業計画及び進捗状況

施設	整備内容	年次計画(百万円)			進捗状況
		28年度	29年度	30年度	
取水施設	姥屋敷地区 水源開発	15	33		平成29年度に実施した井戸洗浄により、湧水量が約1,000m ³ /日増加したため、施工を延期
	柳沢地区 水源開発	20	15	33	平成28年度に実施したボーリング調査の結果が目標水量に至らず水質も良質でなかったことから、大湧口の活用に計画変更
	柳沢取水ポンプ場 非常用発電設備更新	54 8			発電機の増強及び収納建屋の築造について、建設用地の使用が国庫補助の適化法の制約が解除される平成33年度に年度間調整
	柳沢取水ポンプ場 取水ポンプ更新		24		平成29年度は第1水源取水ポンプ更新及び井戸更生工事を前倒しで実施、平成34年度に第3水源ポンプを更新予定に変更
導水施設	姥屋敷導水ポンプ場 ポンプ更新		20 19		平成29年度に3台ある導水ポンプの更新を実施済み
浄水施設	滝沢浄水場 管理棟補修	16 8	15 5	15 3	平成28年度は原水監視噴水池の改修 平成29年度は場内舗装改修工事を実施 平成30年度は管理棟防水塗装を実施
	滝沢浄水場 排泥池築造				平成27年度に完成
	滝沢浄水場 ろ過流量計設置				平成27年度に完成
配水施設	配水管整備	0 52	50 12	96 42	平成28年度 4箇所 L= 830m 平成29年度 1箇所 L= 144m 平成30年度 2箇所 L= 483m
	配水管更新	171 190	100 316	125 281	平成28年度 7箇所 L=3,038m 平成29年度 10箇所 L=3,575m 平成30年度 11箇所 L=3,858m
	配水管移設	83 2	120 0	5 0	平成28年度 1箇所 L= 20m 平成29年度 他工事関連移設なし 平成30年度 他工事関連移設なし
	配水流量計室築造	11 5	3 5	3 5	平成28年度 4箇所 平成29年度 4箇所 平成30年度 4箇所
用地	施設用地取得	9	9		平成29年度 姥屋敷水源周辺用地取得
	水源保全用地取得	0 0		3	平成28年度に大湧口周辺共有地について、八幡平市と盛岡市から取得完了 平成30年度 姥屋敷水源涵養地取得
事業費	計画	359	356	277	992
	実績	285	390	334	1009
凡例	中期経営計画 決算	事業費 事業費	※H30は12月補正予算		

平成30年度滝沢市水道事業予定損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(税抜、単位：千円)

1 営業収益

(1) 給水収益	839,747	
(2) 受託工事収益	5,000	
(3) その他営業収益	<u>80,196</u>	924,943

2 営業費用

(1) 原水及び浄水費	129,664	
(2) 配水及び給水費	178,049	
(3) 受託工事費	4,630	
(4) 業務費	84,874	
(5) 総係費	64,457	
(6) 減価償却費	390,342	
(7) 資産減耗費	35,370	
(8) その他営業費用	<u>848</u>	<u>888,234</u>

営業利益 36,709

3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金	60	
(2) 他会計補助金	6,571	
(3) 引当金戻入益	6,399	
(4) 長期前受金戻入益	89,515	
(5) 雑収益	<u>273</u>	102,818

4 営業外費用

(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	<u>35,085</u>	<u>35,085</u>	<u>67,733</u>
-------------------	---------------	---------------	---------------

経常利益 104,442

当年度純利益 104,442

前年度繰越利益剰余金 0

その他未処分利益剰余金変動額 274,633

当年度未処分利益剰余金 379,075

平成30年度滝沢市水道事業予定貸借対照表
(平成31年3月31日)

(税抜、単位：千円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

ア 土地		152,770	
イ 建物	483,017		
減価償却累計額	<u>△ 222,054</u>	260,963	
ウ 構築物	12,212,732		
減価償却累計額	<u>△ 4,261,152</u>	7,951,580	
エ 機械及び装置	2,593,390		
減価償却累計額	<u>△ 1,506,162</u>	1,087,228	
オ 車両運搬具	16,557		
減価償却累計額	<u>△ 15,170</u>	1,387	
カ 工具器具及び備品	34,340		
減価償却累計額	<u>△ 20,795</u>	13,545	
有形固定資産合計			9,467,473

(2) 無形固定資産

ア 施設利用権		30,345	
イ 電話加入権		<u>742</u>	
無形固定資産合計			<u>31,087</u>
固定資産合計			9,498,560

2 流動資産

(1) 現金預金

ア 預金		<u>779,913</u>	
現金預金合計			779,913

(2) 未収金

ア 営業未収金	23,726		
貸倒引当金	<u>△ 503</u>	23,223	
イ 営業外未収金		<u>5,319</u>	
未収金合計			28,542

(3) 貯蔵品

ア 貯蔵量水器		<u>2,330</u>	
貯蔵品合計			<u>2,330</u>

流動資産合計			<u>810,785</u>
資産合計			<u><u>10,309,345</u></u>

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	2,136,188		
企業債合計		<u>2,136,188</u>	
固定負債合計			<u>2,136,188</u>

4 流動負債

(1) 企業債

ア 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	130,506		
企業債合計		<u>130,506</u>	

(2) 未払金

ア 営業未払金	10,009		
未払金合計		<u>10,009</u>	

(3) 引当金

ア 賞与引当金	4,600		
イ 法定福利費引当金	858		
引当金合計		<u>5,458</u>	

(4) その他流動負債

ア 預り諸税	79		
イ 他会計預り金	14		
ウ 過誤納金	30		
その他流動負債合計		<u>123</u>	

流動負債合計			<u>146,096</u>
--------	--	--	----------------

5 繰延収益

(1) 長期前受金

ア 受贈財産評価額	1,471,103		
収益化累計額	<u>△ 501,832</u>	969,271	
イ 負担金	1,145,261		
収益化累計額	<u>△ 604,601</u>	540,660	
ウ 国庫補助金	1,190,004		
収益化累計額	<u>△ 33,062</u>	1,156,942	
長期前受金合計		<u>2,666,873</u>	
繰延収益合計			<u>2,666,873</u>
負債合計			<u>4,949,157</u>

資本の部

6 資本金

(1) 固有資本金		56,895	
(2) 繰入資本金		917,490	
(3) 組入資本金		3,729,354	
(4) 引継資本金		<u>125,680</u>	
資本金合計			<u>4,829,419</u>

7 剰余金

(1) 資本剰余金

ア 国庫補助金	1,370		
資本剰余金合計		<u>1,370</u>	

(2) 利益剰余金

ア 減債積立金	150,324		
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>379,075</u>		
利益剰余金合計		<u>529,399</u>	

剰余金合計			<u>530,769</u>
-------	--	--	----------------

資本合計			<u>5,360,188</u>
------	--	--	------------------

負債資本合計			<u>10,309,345</u>
--------	--	--	-------------------

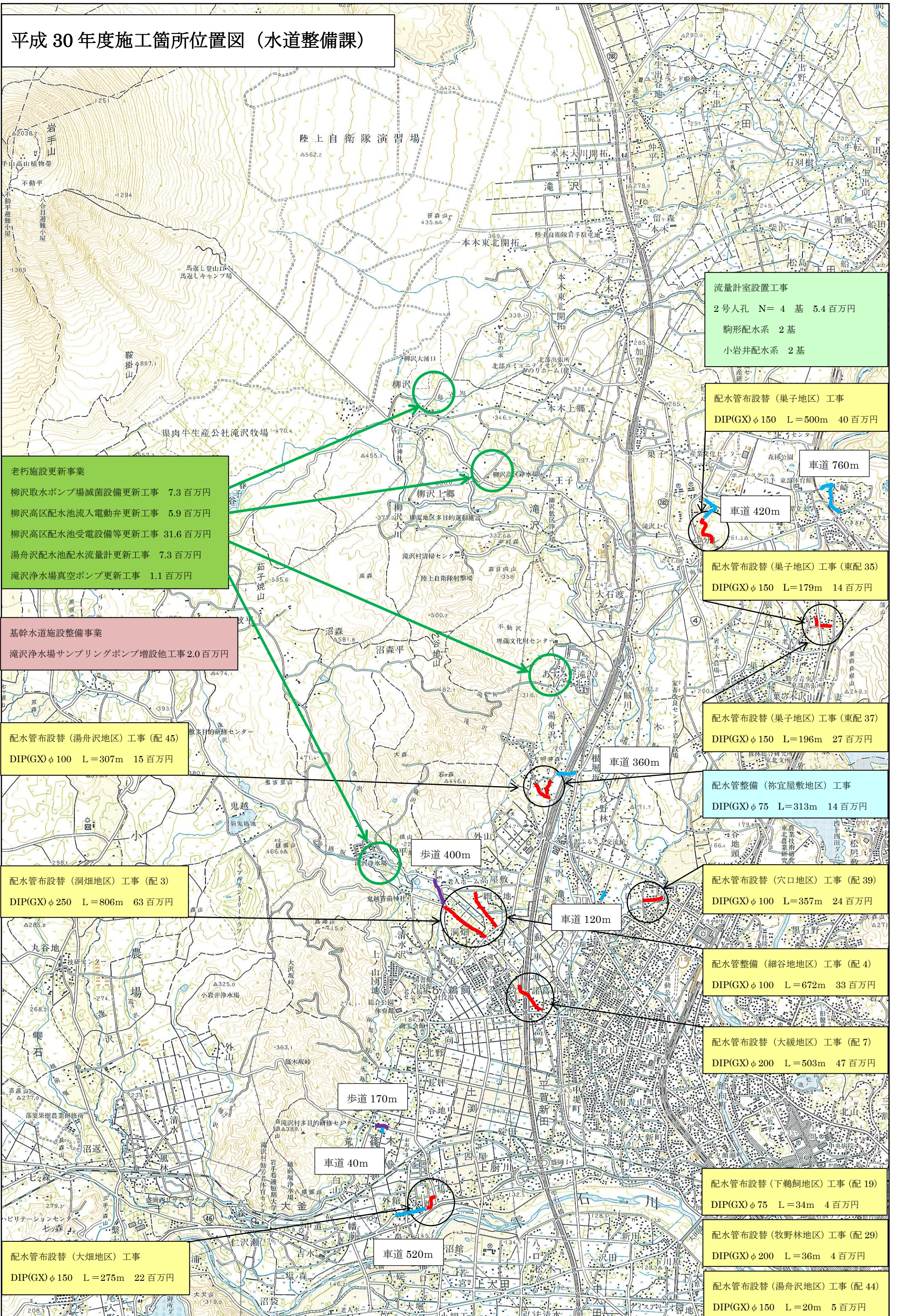
平成30年度滝沢市水道事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(税抜、単位:千円)

項 目	既決予定額	補正予定額	計
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	85,845	18,597	104,442
減価償却費	390,342	0	390,342
固定資産除却費	35,370	0	35,370
貸倒引当金の増減額(△は減少)	215	0	215
賞与引当金及び法定福利費引当金の増減額(△は減少)	△ 654	0	△ 654
長期前受金戻入額	△ 89,515	0	△ 89,515
受取利息及び配当金	△ 60	0	△ 60
支払利息及び企業債取扱諸費	35,085	0	35,085
未収金の増減額(△は増加)	△ 6,971	117	△ 6,854
未払金の増減額(△は減少)	△ 45,940	△ 117	△ 46,057
たな卸資産の増減額(△は減少)	△ 1,296	0	△ 1,296
その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 7,063	0	△ 7,063
小計	395,358	18,597	413,955
利息及び配当金の受領額	60	0	60
利息の支払額	△ 35,085	0	△ 35,085
業務活動によるキャッシュ・フロー	360,333	18,597	378,930
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 502,799	3,019	△ 499,780
他会計からの負担金による収入	1,000	0	1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 501,799	3,019	△ 498,780
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	90,000	0	90,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 122,148	0	△ 122,148
他会計からの出資による収入	16,140	0	16,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,008	0	△ 16,008
資金減少額	157,474	△ 21,616	135,858
資金期首残高	915,771	0	915,771
資金期末残高	758,297	21,616	779,913

平成30年度施工箇所位置図（水道整備課）



流量計室設置工事
 2号人孔 N= 4 基 5.4百万円
 駒形配水系 2基
 小岩井配水系 2基

配水管布設替（菓子地区）工事
 DIP(GX)φ150 L=500m 40百万円

配水管布設替（菓子地区）工事（東配35）
 DIP(GX)φ150 L=179m 14百万円

配水管布設替（菓子地区）工事（東配37）
 DIP(GX)φ150 L=196m 27百万円

配水管整備（祢宜屋敷地区）工事
 DIP(GX)φ75 L=313m 14百万円

配水管布設替（洞口地区）工事（配39）
 DIP(GX)φ100 L=357m 24百万円

配水管整備（細谷地区）工事（配4）
 DIP(GX)φ100 L=672m 33百万円

配水管布設替（大緩地区）工事（配7）
 DIP(GX)φ200 L=503m 47百万円

配水管布設替（下鶴岡地区）工事（配19）
 DIP(GX)φ75 L=34m 4百万円

配水管布設替（牧野林地区）工事（配29）
 DIP(GX)φ200 L=36m 4百万円

配水管布設替（湯舟沢地区）工事（配44）
 DIP(GX)φ150 L=20m 5百万円

老朽施設更新事業
 柳沢取水ポンプ場減菌設備更新工事 7.3百万円
 柳沢高区配水池流入電動弁更新工事 5.9百万円
 柳沢高区配水池受電設備等更新工事 31.6百万円
 湯舟沢配水池配水流量計更新工事 7.3百万円
 滝沢浄水場真空ポンプ更新工事 1.1百万円

基幹水道施設整備事業
 滝沢浄水場サンプリングポンプ増設他工事 2.0百万円

配水管布設替（湯舟沢地区）工事（配45）
 DIP(GX)φ100 L=307m 15百万円

配水管布設替（洞畑地区）工事（配3）
 DIP(GX)φ250 L=806m 63百万円

配水管布設替（大畑地区）工事
 DIP(GX)φ150 L=275m 22百万円